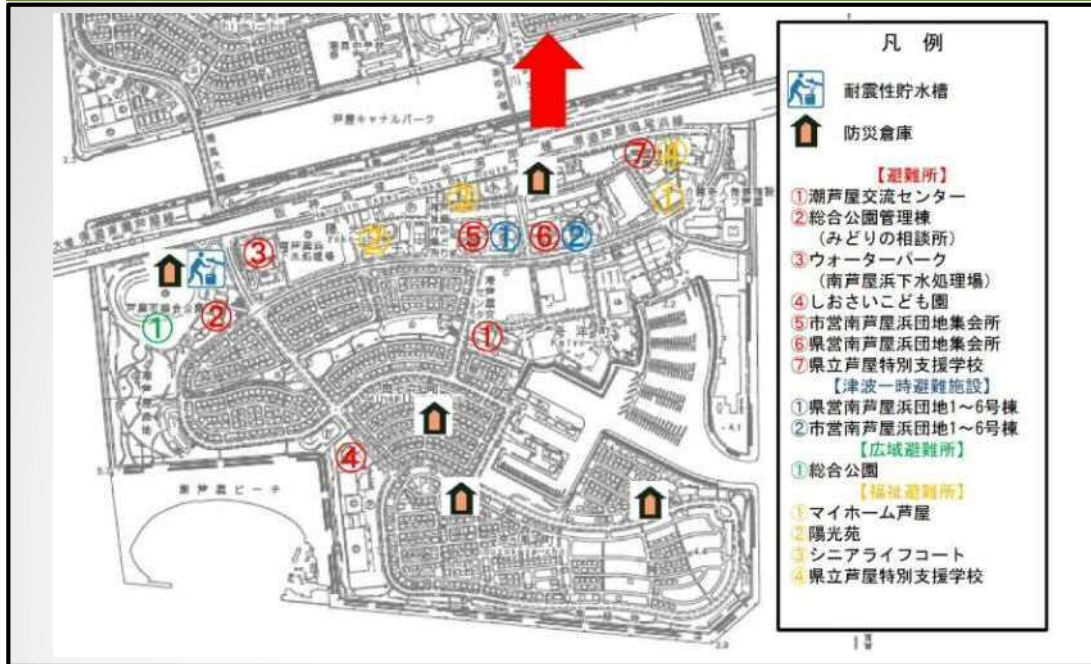


# 芦屋市の防災対策「避難編」

## 「芦屋市の避難所・防災倉庫」



## 災害時に助け合える取組

大規模広域災害が発生した際は、公助が早急に届かないことがあります。その場合、地域での助け合いによる支援活動が必要不可欠です。災害時の行動に混乱が生じないように、地域でのルールづくり（地区防災計画）を行い、地域の皆さんで共有しましょう。

### 「避難所」

災害が発生し、又は発生するおそれがある場合に、災害の危険性から避難した住民等をその危険性がなくなるまでの必要な期間の滞在、又は災害により家に戻れなくなった住民等を一時的に滞在させる施設。

### 「津波一時避難施設」

災害が発生し、又は発生するおそれがある場合に、津波や洪水などの危険から逃れるための施設。ひとまず危険を回避するための場所であり、災害に対して一定の安全性がある頑丈な建物や危険が及ばないと考えられる開けた場所を指定している。

### 「福祉避難所」

避難行動要支援者が避難生活をするための、特別な配慮がなされた避難所。二次避難所であるため、小学校などの避難所に入った人避難した後、必要と判断された場合に開設される。運営にあたる人材は、その多くを地域内のボランティアによって確保する必要があります。

### 「広域避難所」

大地震時や大火災時に周辺地区からの避難者を收容し、地震後に発生する市街地火災等から避難者の生命を保護するための避難場所。一時的に避難する場所であるため、避難所のように避難生活を行う場所としては、指定していない。

## 防災倉庫資機材

防災倉庫には、阪神淡路大震災を踏まえ、下記の資機材のほか、災害時に必要となる資機材を保管しております。また、災害時の備蓄食料等も保管しております。

段ボールベッド



災害救助セット



ガスパワー発電機



## 「避難情報と警戒レベル」

**防災気象情報**

避難レベル5 避難情報

既に災害が発生している状況です。命を守るための最善の行動をとります。

避難レベル4 避難情報

速やかに避難しましょう。公的な避難場所までの移動が危険と見られる場合、近くの安全な場所や、自宅内のより安全な場所に避難しましょう。

避難レベル3 避難情報

避難に備え、防災情報マップ等により、自らの避難行動を確認しましょう。

避難レベル2 避難情報

避難に備え、防災情報マップ等により、自らの避難行動を確認しましょう。

避難レベル1 避難情報

災害への心構えを高めましょう。

各種の情報は、警戒レベル1～5の段階で発表されるとは限りませんが、状況が急変することもあります。

## 「高潮に対する避難発令」

発令内容	発令基準
災害発生情報	災害が発生していることを把握した場合
避難指示（緊急）	南芦屋浜の南護岸ベンダ部が浸水し、更なる上昇が見込まれる場合 堤防から溢水する可能性が高まった場合
避難勧告	潮位がピークを迎える2～3時間前 ※3m以上の潮位が予想される場合
避難準備・高齢者等避難開始	高潮警報が発表された場合

### 高潮の発生としくみ

高潮は、台風や発達した低気圧が原因で発生し、気圧の低下による吸い上げ効果や強風による吹き寄せ効果のために、海面が異常に上昇する現象です。また、高波が迫るとさらに海面が上昇します。高潮の最盛期には暴風や豪雨も伴うので、避難することが危険になります。気象情報を確認し、安全に行動できるように避難することが何より大切です。

### 高潮発生の要因



## 避難所一覧

避難所	収容人数 (人)	大雨 (土砂)	高潮	津波 (地震)
潮見小学校	340	◎	△	×
県営南芦屋浜団地集会所	30	○	×	×
市営南芦屋浜団地集会所	30	○	×	×
総合公園管理棟 (みどりの相談所)	100	○	×	×
ウォーターパーク (南芦屋浜下水処理場)	200	○	△	×
県立芦屋特別支援学校	560	○	△	×
しおさいこども園	30	○	×	×
潮芦屋交流センター	110	○	△	×

◎印は、避難発令に伴い開設します。  
 大雨（土砂）の○印は、開設している避難所（◎の避難所）が不足していると考えられる場合に、開設します。  
 △印は、高潮の発生が予想される場合、想定される規模を考慮の上、開設します。

# 芦屋市の防災対策「情報・設備編」

## 「あしや防災ネット」の登録

皆さんの携帯電話やパソコンに、災害情報などをメールでお届けします。登録料は無料です（登録の際の通信料とメール送受信、インターネット閲覧などにかかる費用は、登録者の負担になります）。

- 配信内容
- ① 緊急情報メール
  - ② お知らせメール
  - ③ 国民保護情報メール
  - ④ 気象情報メール

**登録方法**

- 1 ashya@bosai.net 宛てに空メールを送信、または、二次元コードを読み取り、空メールを送信  
※メール本文の内容は修正しないでください。
- 2 情報メール登録用URLを記したメールが届く  
※メールが届かない場合、受信設定（URL付きメールおよび「bosai.net」のドメイン受信許可）を確認してください。
- 3 利用規約を読む
- 4 登録 ※メールに記載された登録用URLにアクセスすると登録が完了します。
- 5 登録完了画面が表示
- 6 完了メールを受信 ※登録完了のメールが届きます。



**空メール** → **送信メール** → **登録完了画面**

1. 【件名】と【本文】欄は空欄のまま、ashya@bosai.net にメール送信をする...

2. このようなメールが届きます！  
このURLよりかんたん登録の手続きをお願いします。  
※このURLの有効期限は7日間です。7日以内に手続きを完了してください。  
※情報メールの受信をご利用される前に必ず利用規約をお読み下さい。  
利用規約 (必須)  
http://bosai.net/...  
※利用規約に同意して登録する  
http://bosai.net/...  
完了!

3. この画面が表示されれば登録は完了です！

登録内容の照会  
以下のとおり登録されました。

緊急情報メール  
・あしや防災ネット

お知らせメール  
・あしや防災ネット

国民保護メール  
・半田町等  
・兵庫県全域

気象注意報・警報  
・兵庫県神戸市東灘区  
・淡路島南部

地震速報・土砂災害警戒情報  
・芦屋市

河川洪水警報  
(受信しない)

変更・解除する

## 「芦屋市防災行政無線システム」

市内各所に設置された屋外拡声スピーカーおよび戸別受信機により、平常時には訓練放送などを、非常時には災害情報を市内全域にお知らせします。  
なお、災害時には繰り返し放送を行いますので、放送が聞き取れなかったり、もう一度聞きたい方は、下記の自動応答電話をご利用ください。



毎日17時に「夕焼け小焼け」の試験放送をしています。

➤ **自動応答電話**

**☎0180-99-7787**

**凡例**

- 既設防災行政無線設置位置
- 移設を行う
- 防災行政無線設置位置

防災行政無線スピーカーからの音声が届きにくいとの要望から、昨年度に防災行政無線スピーカーの現地音質調査を実施しました。その結果をもとに、今年度、防災行政無線スピーカーの改良及び市街地芦屋市街地地区全域に設置している防災行政無線を音声交流センターに移設する工事を実施します。なお、屋内におられる方につきましては、住宅の気密性の向上から聞き取りにくい状況が生じるため、あしや防災ネット、緊急告知ラジオ、SNSなど、複数のツールを活用するようにしてください。

## 「芦屋市Web版防災情報マップ」

パソコンやスマートフォンから簡単にハザードや避難所等が閲覧できます。

- ◆ 津波・土砂災害の情報が閲覧可能
- ◆ 住所検索・航空写真への切り替えが可能
- ◆ 4か国語（日本・英語・中国語・韓国語）



## 「非常持出品チェック」

- 非常食・水  
火を通さず食べられるもの。水はペットボトルが便利
- 常備薬・緊急医薬品  
キズ薬、ばんそうこう、解熱剤、かぜ薬、胃腸薬、目薬など
- 懐中電灯、ランタン  
できれば1人1つ。予備の電池も。
- 携帯ラジオ  
AM・FM兼用。最近は携帯電話の充電ができるものもあり。
- ヘルメット  
なければ防災ずきんでいい。
- 貴重品  
少額の現金や預貯金通帳、印鑑、健康保険証など

※成人男性で15kg  
成人女性で10kg  
を目安に



## □ その他各家庭で必要と思われるもの

- メガネ、コンタクトレンズ、補聴器など【乳幼児のいる家庭】
- 粉ミルク、哺乳瓶、離乳食、おむつ、バスタオル、母子手帳など【要配慮者のいる家庭】
- 着替え、おむつ、ティッシュ、常備薬など【アレルギー性疾患患者がいる家庭】
- アレルギー対応食など



## 「食料や生活用品などを備える」

**ポイント1** 飲料水・食料は家族の人数に合わせて、できれば1人1週間分、最低でも3日分は備蓄しておきましょう。水（飲料水）は、1人1日3Lを目安に。

**ポイント2** 調理にはカセットコンロが役に立ちます。予備のガスボンベも備えておきましょう。

**ポイント3** 必要に合わせて、なくては困るものも準備しましょう。

**備蓄品の例**

- 水・非常食  
水（目安：1人1日3L）、ごはん、パン類、レトルト食品、缶詰類、インスタント食品 など
- 消耗品  
使い捨て食器類、食用蓋ラップフィルム、トイレットペーパー、歯ブラシ、タオルなどの日用品、電池 など
- 備品  
カセットコンロ、ガスボンベ、懐中電灯やランタン、毛布、寝袋、携帯電話充電器、モバイルバッテリー など

※非常時は洪水被害など家畜の飼育が考えられます。また、お湯があれば温かい食事もとれますので、できる限りいろいろな種類の非常食を用意しておきましょう。

## 「市の備蓄食料」

芦屋市では、阪神大震災時の避難者（2万人）と当時の人口（8.7万人）の割合から算出された1日分の食料を備蓄しています。

- ◆ 南芦屋浜地区  
2万人/8.7万人×現人口（5.9千人）= 1400食
- ◆ 備蓄食料等 アルファ化米、ビスコ、保存パン、水（500ml）

※芦屋市でも食料を備蓄していますが、家屋全壊等で備蓄していた食料等をなくされた方用に準備しているため、日頃より各自での備蓄をお願いします。

## 「芦屋市ホームページ」

<http://www.city.ashiya.lg.jp/anshin/index.html>

## Facebook・Twitter「芦屋市防災情報」



災害時の緊急情報等、芦屋市の防災・減災に関するさまざまな情報を発信しています。

## 「緊急告知ラジオ」

室内で防災行政無線の放送内容を聞くことができる「緊急告知ラジオ」を市役所内売店にて販売。緊急・災害時にはFM電波を通じて自動的に起動し、最大音量で放送されます。



## J:comチャンネル「ケーブルテレビ11ch」

災害発生時には、テロップで緊急情報をお知らせします。

## 耐震性貯水槽とは？

災害時等に、飲料水を確保するための施設です。

平常時は、水道管の一部として、災害時は、緊急遮断弁が作動し、飲料用のタンク（100t）になります。

※総合公園内にあります。

**耐震性貯水槽**

図解：緊急時作動

平常時：水道管の一部として機能し、地震発生時に緊急遮断弁が作動し、飲料用のタンク（100t）になります。

緊急時：緊急遮断弁が作動し、飲料用のタンク（100t）が機能します。